



- ☆第58回愛知県統計グラフコンクール
- ☆東海地方数学教育会第61回(三重)大会ご案内
- ☆葵中学校授業研究会のご案内
- ☆授業のひとコマ

第58回愛知県統計グラフコンクール

☆本年度もたくさんの児童・生徒の入賞がありました！おめでとうございます！

[県統計グラフのページへ](#)（作品の画像を見ることができます）

※市内のみ掲載

第1部（小学校1～2年生）

金賞（2点）

作品名	制作者	性別	所属学校名	学年
みんなの夢おしえて おとうさんお かあさんにもきいてみました	小嶋 夢架	女	岡崎市立大樹寺小学校	2
おふろ大すき さっぱりからだ すっきりこころ	江本 裕	男	岡崎市立矢作東小学校	2

第2部（小学校3～4年生）

金賞（3点）

ぐっすりねてる？みんなのすいみ ん	佐野 文香	女	岡崎市立 広幡小学校	4
教えて みんなの朝ごはん	仲野 莉瑠	女	岡崎市立 井田小学校	4
学校から帰ったら・・・わたしたちっ ていそがしい？！	筒井 咲希	女	岡崎市立 六ツ美西部小学校	4
	白山 未珠	女	岡崎市立 六ツ美西部小学校	4

銀賞（4点）

自転車の交通ルール守って る？！～自転車の交通事故をなく すために～	藤原 龍世	男	岡崎市立 井田小学校	4
	松木 遥大	男	岡崎市立 井田小学校	4
自分でまもろう！！大切な命	平林 響	女	岡崎市立 連尺小学校	3
大好き部活動	岩田 敦史	男	岡崎市立 三島小学校	4
どうやって勉強してるの？～宿題 以外の勉強は役立つ？～	中村 碧	女	岡崎市立 六ツ美西部小学校	4

銅賞（4点）

みんなはどう？睡眠をしっかりとり ためにできること	坂口 文菜	女	岡崎市立 竜美丘小学校	4
ぼくの わたしの 兄弟・姉妹	西島 沙羅	女	岡崎市立 竜美丘小学校	4
一番人気は 芸のう人～かなうと いいね みんなのゆめ～	三ツ矢幸奈	女	岡崎市立 六ツ美西部小学校	3
	牧原 力	男	岡崎市立 六ツ美西部小学校	3

節水・節電やっていますか？	英加くれは	女	岡崎市立 矢作南小学校	4
---------------	-------	---	-------------	---

第 3 部 (小学校5～6年生)

作 品 名	制作者	性別	所属学校名	学年
-------	-----	----	-------	----

金賞(5点)

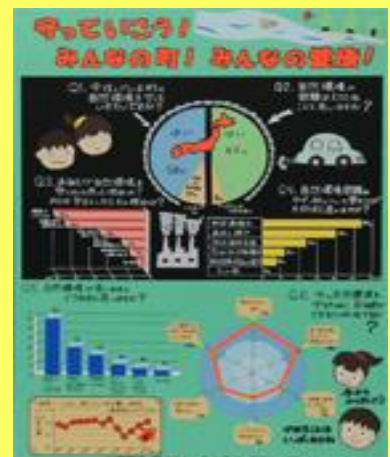
守っていこう！ みんなの町！ みんなの健康！	渡邊 一甲	男	岡崎市立 三島小学校	6
未来へつなごう！「和食」文化	高 鋤 真菜	女	岡崎市立 三島小学校	5
過去未来にタイムスリップ	成田ひより	女	岡崎市立 竜谷小学校	6
おいしいね！もっと食べよう 地元 の野菜	渡我部はるか	女	岡崎市立 竜美丘小学校	5
調理って楽しいな家庭科スタート	江本 恵	女	岡崎市立 矢作東小学校	5

銀賞(5点)

考えてみて 相手の気持ち 自分 の気持ち	長谷部直登	男	岡崎市立 男川小学校	6
	山西 詩菜	女	岡崎市立 男川小学校	6
大丈夫？災害への備え	畑野 心咲	女	岡崎市立 小豆坂小学校	6
ペットと幸せにくらすには？	生田 真大	男	岡崎市立 竜美丘小学校	5
備えあれば 憂いなし ～備えよう！！私達に出来ること～	大野さつき	女	岡崎市立 小豆坂小学校	6
捨てられた 犬・猫たち	稲垣 華子	女	岡崎市立 男川小学校	6
	山西 菜音	女	岡崎市立 男川小学校	6

銅賞(5点)

大切にしよう！家族との時間	道脇 麻友	女	岡崎市立 梅園小学校	6
エコライフしてる？	窪山 美緒	女	岡崎市立 連尺小学校	5
楽しみ？心配？中学校ライフ	市川真由奈	女	岡崎市立 常磐小学校	6
地震の備え大丈夫！？	加島 光稀	女	岡崎市立 梅園小学校	5
地しんにそなえて～私達にできる事～	長嶺 桃子	女	岡崎市立 竜美丘小学校	5



第 4 部 (中学生)

作 品 名	制作者	性別	所属学校名	学年
-------	-----	----	-------	----

金賞(3点)

守ろう 大切な世界遺産!!～ひとりひとりができること～	鈴木 麻尋	女	岡崎市立 竜海中学校	1
今、人生の岐路羽ばたけ15歳	石川 純子	女	岡崎市立 城北中学校	3

銀賞(5点)

いつ来るかわからない大地震	光岡 真織	女	岡崎市立 翔南中学校	2
もしかしてネット依存症?!-危険!知らずにはまっていくネットの怖さ-	高鍬菜津紀	女	岡崎市立 竜海中学校	3
やっぱり英語は習っておくべき?	吉田 香菜	女	岡崎市立 竜海中学校	1
いま問題 日本人の和食離れ	櫛田 朱里	女	岡崎市立 竜海中学校	3
さらなる増税 どうなる日本!	廣瀬 史弥	男	岡崎市立 竜海中学校	2

銅賞(5点)

知っていますか? 喫煙による体への影響～あなたの命に危険が迫る～	水口 奈々	女	岡崎市立 城北中学校	2
どうする?日本の消費税	大下 栞	女	岡崎市立 竜海中学校	2
踏み出そう!未来への一歩	江坂 友貴	男	岡崎市立 竜海中学校	3
アフリカからのSOS!	舟橋 里乃	女	岡崎市立 美川中学校	3
	舟橋 芽里	女	岡崎市立 美川中学校	2

パソコン統計グラフの部(小学生以上)

作 品 名	制作者	性別	所属学校名	学年
-------	-----	----	-------	----

金賞(5点)

日本の幸福度は高い?低い?みんなが感じる幸せとは...?～中学生の幸福度調査～	平山 真帆	女	岡崎市立 河合中学校	中3
	稲垣 萌	女	岡崎市立 河合中学校	中3
	近藤 隼光	男	岡崎市立 河合中学校	中3
どう思う?原発	柴田 岳志	男	岡崎市立 新香山中学校	中3
あなたの家は大丈夫?災害時の備え	鳥原 蓮花	女	岡崎市立 翔南中学校	中2
現代の中学生の普段見ている画	滝口 慶明	男	岡崎市立 翔南中学校	中2

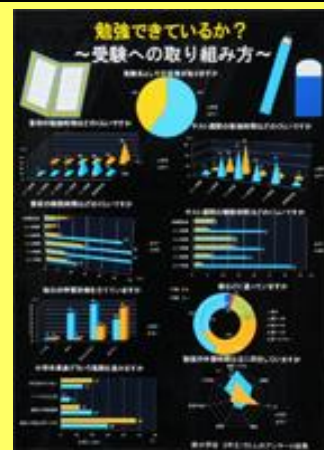
面と視力の関係				
「使ってる」のに「わからない」！？ ～インターネットトラブル・大人と子ども～	井川千愛美	女	岡崎市立 北中学校	中3
	北野 海斗	男	岡崎市立 北中学校	中3
	酒井 一成	男	岡崎市立 北中学校	中3
	中道 瑛都	男	岡崎市立 北中学校	中1
	直井 優弥	男	岡崎市立 北中学校	中1

銀賞(5点)

消費税8パーセント！ 小学生に 影響は？	今角 友哉	男	岡崎市立 福岡小学校	小6
	志水 遥	男	岡崎市立 福岡小学校	小6
	岩崎 響葵	男	岡崎市立 福岡小学校	小6
	中根 史温	男	岡崎市立 福岡小学校	小6
みんなは話せるの？英語	永田 友輔	男	岡崎市立 竜美丘小学校	小6
音楽について～中学生に聞いた 音楽アンケート～	中山 朱莉	女	岡崎市立 翔南中学校	中2
負けないぞ！小学生だってストレ スがいっぱい！！～ストレスを吹 き飛ばすための小学生の工夫～	林 莉緒	女	岡崎市立 福岡小学校	小6
	古川 莉彩	女	岡崎市立福岡小学校	小6
	井指 柚紀	女	岡崎市立福岡小学校	小6
降りかかる少子化～未来を担う中 学生の意識～	川合 春輝	男	岡崎市立 南中学校	中3

銅賞(4点)

中学生が考える集団的自衛権に ついての危機！	長野 真子	女	岡崎市立 葵中学校	中3
	池田 姫榉	女	岡崎市立 葵中学校	中3
いつか来る！大地震！！	清水 裕二	男	岡崎市立 新香山中学校	中3
勉強できているか？～受験への 取り組み方～	石川 稜	男	岡崎市立 南中学校	中3
給食大好き！もっと食べたいな！ ～児童・保護者からの給食に対す るさまざまな思い～	小山 愛佳	女	岡崎市立 福岡小学校	小6
	内藤日和子	女	岡崎市立 福岡小学校	小6
	森井 優衣	女	岡崎市立 福岡小学校	小6
	西村 陽菜	女	岡崎市立 福岡小学校	小6



平成26年度 統計グラフコンクール指導者表彰・統計グラフ教育指導者表彰 統計グラフコンクール指導者表彰

岡崎市立翔南中学校

伊藤 研治先生

☆なお、上記の入賞作品は、岡崎市図書館交流プラザ(りぶら)に展示されます。ぜひご覧ください。

展示期間 10月23日(木)午後～10月31日(金)午前 閲覧時間(午前9時～午後21時)

詳しくは直接りぶらにお問い合わせください。(電話0564-23-3100 総合案内)

※金賞は写真にて、他は実物をパネルに入れて展示されています。

東海地方数学教育会第61回研究(三重)大会

○主題 『算数・数学のよさを実感し、思考力・表現力を高める数学教育の実践』

○期 日 平成26年11月14日(金)

○場 所 三重大学教育学部附属小中学校、三重県総合文化センター他

○提案者 小学校中学年 高橋 尚弘先生(広幡小学校)

『実感を伴った算数的な活動を通して主体的に活動する子供の育成を目指して』
～3年生「時間と長さ」の指導を通して～

○講 演 講師 根上 生也先生(横浜国立大学教授)

「赤ちゃんから数学者までの算数・数学教育」



岡崎市立葵中学校 授業研究協議会の御案内

研究主題 『学び合い・磨き合いを軸にした、思考力・判断力・表現力の育成』
～ICTの幅広い活用法と生徒が自ら求めてICTを活用する場の追究～

- 1 日 時 平成26年10月22日(水) 13:20～16:15
- 2 研究授業
 - ☆单元名・題材名『変化と対応』(1年) 授業者 徳倉 千秋
使用する主なICT機器・・・タブレットPC
 - ☆单元名・題材名『一次関数』(2年) 授業者 秀野 亜友・佐野 和彦
使用する主なICT機器・・・タブレットPC、書画カメラ
 - ☆单元名・題材名『自分にあった問題を解こう』(特支) 授業者 博多 圭子
使用する主なICT機器・・・デスクトップPC
- 3 研究協議会 助言者：佐橋 康仁先生(甲山中) 助言者：平 任代先生(城北中)
- 4 研究助言者 和歌山大学 准教授 豊田 充嵩先生

13:00～13:20 受付

15:05～15:10 研究概要の説明

13:20～13:40 あおいタイム

15:10～16:00 授業別研究協議会

13:55～14:45 公開授業

16:00～16:15 助言者講評



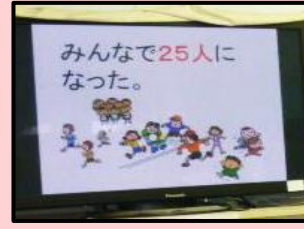
授業のひとコマ

「かくれた数はいくつ(小学校2年生)」実践

教科書2年上 P53

① 導入の工夫

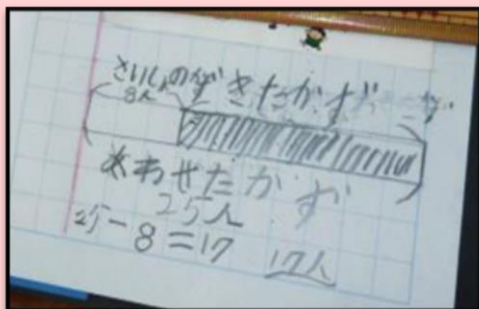
a+□=bの、□を求めるような教師の話(問題の投げかけ)をした。教科書の問題は花についての文章だったが、変更して子どもたちが遊んでいる映像を大型ディスプレイで提示した。そして1文ずつ問題文を提示した。1つずつ問題文を読むことは、子どもたちの問題解決への意欲を高めることにつながった。



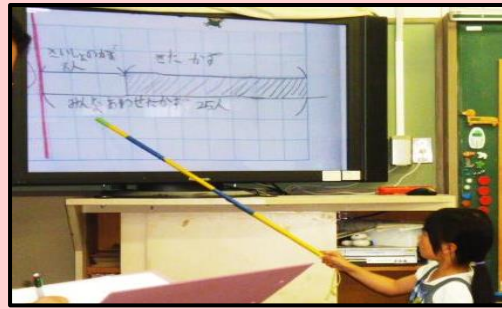
運動場で遊んでいる写真 ⇒ 8人であそんでいた。 ⇒ 友だちが来た。 ⇒ みんなで25人になった。

② わかりやすいノート指導

大切な言葉や数字に注目するため、問題文をノートに貼り、線を引いたり印をつけたりした。線分図(テープ図)をもとに立式し、なぜそのような式になるのかを話し合い、解答することができた。



線分図をもとにして、来た友達の数求めた。



→ ノートを大型ディスプレイに映して考えを発表した。

(文責 羽根小学校 三井 マコ美)

「偶数・奇数(小学校5年生)」実践

教科書5年上p. 86

「偶数・奇数」という言葉は、日常生活の中で自然に使われている。単元の冒頭で、子どもたちにどういうときに「偶数・奇数」という言葉を使ったことがあるか聞いてみた。すると、「運動会の全員リレーのときに走る順番が奇数と偶数で分かれて並ぶ」や「ドッジボールのときのチーム分け」、「観劇会するとき、1、3、5年生は午前中、2、4、6年生は午後」などにさまざまな事例が出された。

余りに着目してみると、偶数は2で割り切れる整数の仲間、奇数は2で割ると1余る整数の仲間と言える。偶数、奇数のように整数を2グループに分けるときは、2で割ったときの余りに着目して類別すればよいことをとらえさせた後、「5年2組37人を赤、青、白の3グループに分けてゲームをするときは、どうやって分ければよいだろう」と聞いてみた。子どもたちは、偶数、奇数から類推的に考えて、

赤(3で割り切れる仲間)・・・3, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24, 27, 30, 33, 36

青(3で割ると1余る仲間)・・・1, 4, 7, 10, 13, 16, 19, 22, 25, 28, 31, 34, 37

白(3で割ると2余る仲間)・・・2, 5, 8, 11, 14, 17, 20, 23, 26, 29, 32, 35

のように出席番号を3で割ったときの余りで類別すれば

よいことに気づいた。その後、実際に子どもたちは、自分の出席番号を3で割り、その余りで3グループに分かれた。子どもたちからは「思ったより簡単に分けることができた」「実力も同じぐらいになっている」という感想が聞かれ、余りで類別するよさを感じることができたといえる。「今度、カルタをやるときは、出席番号を6で割って分けよう」という声も聞かれるなど、生活に活かそうという態度も見受けられた。



(文責 六ツ美南部小学校 加藤幸広)

「平方根(中学校3年生)」実践

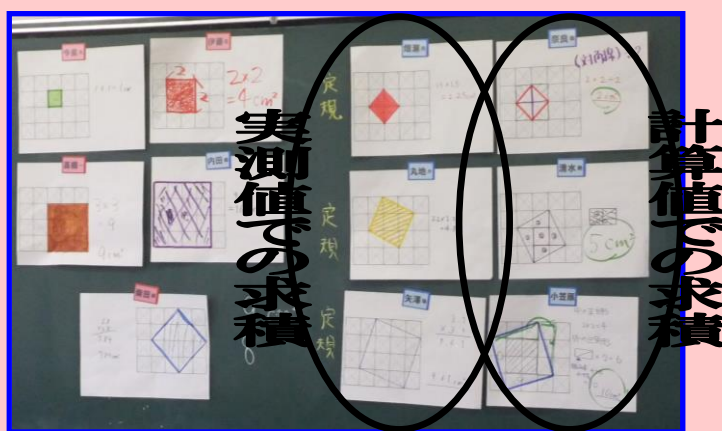
教科書3年p.44

本単元を通して、有理数から無理数への数の拡張が行われる。新たな数の概念であることから、導入において、たて4cm、横5cmの方眼を用いて、正方形を作図する操作的な数学的活動を取り入れ、作図した正方形の面積と1辺の長さを求める課題を設定した。

平方根を考える上で、正方形との関係で考えていくことが多く、このような課題で導入することがよく見られる。その中で、ドットだけのものやたて線・よこ線だけの方眼で考えさせることもある。この場合、なかなか斜めの正方形を見つけることが難しいデメリットもある。そこで、本授業では、方眼に斜めの線入れることとした。

違う面積であれば、形は斜めになってもよいことをあらかじめ告げておいたこともあり、数学の得意な生徒は斜めの正方形にもすぐに気づくことができた。数学の苦手な生徒は、6種類の正方形を作図することができているものの、面積 $5 \cdot 10$ の正方形を見つけられない。そこで、それぞれの面積の正方形の紙を用意し、机間指導で支援することとした。また、グループ学習で、互いに教えあう場を設定した。

次に、平方根の考えのもととなる面積について視点を当てた。教師側としては、次の2つの解法「①公式や図形の変形から面積を求める方法」と「②実測から面積を求める方法」を挙げさせることにより、計算値と実測値のずれを知り、無理数の存在を知ることにつながられると考えた。計算値と実測値における「面積が違う」という声を意図的に吸い上げ、それぞれの面積の求め方を全体場で確認することで、面積と1辺の長さの関係に着目する必然性が生まれる授業となった。



(文責 矢作中学校 鈴木 崇之)